

**資 料 編**

## 塾卒業者数の変遷

### 〔ハイテク塾・長崎伝習所〕

昭和61年度	塾長	卒業生数	男性	女性
海洋開発塾	黒瀬 正行	23名	23名	一名
流通塾	宮原 泰治郎	24名	21名	3名
バイオ塾	鴨川 秀俊	31名	31名	一名
工業システム開発塾	高岡 則彦	22名	21名	1名
メカトロニクス塾	平田 泰郎	21名	20名	1名
海洋システム塾	利光 一紀	23名	23名	一名
都市デザイン塾	岡林 隆敏	26名	24名	2名
観光開発塾	岩永 明士	21名	20名	1名
建築塾	鉄川 進	20名	20名	一名
基礎講座塾	伝習所事務局	33名	26名	7名
総 数	10塾	244名	229名	15名

昭和62年度	塾長	卒業生数	男性	女性
海洋開発塾	高橋 和雄	17名	17名	一名
AI塾	谷口 良輔	15名	13名	2名
マイコン制御塾	小笹 裕	12名	12名	一名
建築塾	池田 賢一	18名	15名	3名
ニュービジネス研究塾	久保 一雄	27名	27名	一名
都市デザイン塾	浜永 孝雄	32名	27名	5名
イベント研究塾	田上 俊一	25名	25名	一名
来庵交流塾	ブライアン・パークガフニ	27名	12名	15名
'87紅塾	竹中 晴美	23名	一名	23名
長崎食文化塾	本田 時夫	21名	8名	13名
総 数	10塾	217名	156名	61名

昭和63年度	塾長	卒業生数	男性	女性
ニュービジネス研究塾	下山 重次	28名	24名	4名
長崎グランドデザイン塾	黒瀬 正行	17名	17名	一名
ニューメディア研究塾	木室 和孝	14名	13名	1名
長崎都市探検塾	吉岡 宣孝	23名	13名	10名
シティーリニューアル塾	大草 一俊	22名	17名	5名
来庵交流塾	林 敏幸	20名	9名	11名
'88紅塾	竹中 晴美	24名	一名	24名
長崎CM塾	中村 聡	14名	10名	4名
塾「花集」	北郷 雅子	15名	7名	8名
伝習所おまかせ塾	伝習所事務局	一名	一名	一名
総 数	10塾	177名	110名	67名

平成元年度	塾長	卒業生数	男性	女性
カード研究塾	山下 国広	22名	19名	3名
経営活性塾	前田 慎一郎	20名	15名	5名
造船塾	坂本 伸慈	17名	17名	1名
都市演出研究塾	大草 一俊	46名	32名	14名
長崎工芸塾	竹田 克人	19名	14名	5名
風力発電研究塾	平井 隆市	25名	20名	5名
“まちづくりと商店街”塾	佐藤 秀人	27名	15名	12名
総 数	7塾	176名	132名	44名

平成2年度	塾長	卒業生数	男性	女性
風力発電研究塾	平井 隆市	26名	22名	4名
長崎・サウンドデザイン塾	吉岡 宣孝	19名	10名	9名
都市夢塾	林 一馬	46名	30名	16名
長崎工芸塾	浜脇 昌盛	17名	11名	6名
長崎観光・物産塾	下山 重次	21名	18名	3名
港元気塾	平山 敏	28名	25名	3名
三重トピア塾	田川 茂	16名	16名	1名
総 数	7塾	173名	132名	41名

### 〔長崎伝習所〕

平成3年度	塾長	卒業生数	男性	女性
長崎・サウンドデザイン塾	吉岡 宣孝	23名	12名	11名
商店GUYSクリエイティブ・ネットワーク塾	山下 国広	20名	20名	1名
こどもたちの夢広場塾	猪山 勝利	32名	25名	7名
都市夢塾Ⅱ	渡部 雅弘	56名	43名	13名
来庵交流塾	岡部 道夫	25名	16名	9名
リサイクル文化研究塾	糸山 景大	45名	31名	14名
稲佐山元気塾	松原 一成	16名	14名	2名
総 数	7塾	217名	161名	56名

平成4年度	塾長	卒業生数	男性	女性
リサイクル文化研究塾	糸山 景大	37名	28名	9名
サウンドデザイン塾	吉岡 宣孝	18名	10名	8名
こどもたちの夢広場塾	猪山 勝利	46名	30名	16名
長崎都市夢塾	上野 皓士	46名	32名	14名
国際交流塾	牛嶋 洋一郎	82名	47名	35名
居留地未来塾	西 武宏	47名	39名	8名
港再生塾	浦川 貴隆	29名	26名	3名
総 数	7塾	305名	212名	93名

平成5年度	塾長	卒業生数	男性	女性
長崎都市夢塾	宮原 和明	53名	38名	15名
リサイクル文化研究塾	糸山 景大	38名	31名	7名
居留地未来塾	黒崎 邦博	41名	31名	10名
国際交流塾	牛嶋 洋一郎	100名	33名	67名
エコ・デザイン研究塾	渡部 雅弘	37名	27名	10名
遊びデザイン塾	藍葉 忠之	18名	12名	6名
文化・地域活性化塾	猪山 勝利	25名	13名	12名
ふれあい福祉21塾	牛津 信忠	35名	13名	22名
総 数	8塾	347名	198名	149名

平成6年度	塾長	卒業生数	男性	女性
国際交流塾	牛嶋 洋一郎	110名	43名	67名
おんな達の素朴な？塾	磯田 朋子	36名	一名	36名
NG発見塾	有馬 一郎	26名	23名	3名
よか・余暇・環境デザイン塾	前田 卓郎	19名	9名	10名
長崎表現塾	横田 嗣	18名	15名	3名
いのち・くらし・共育塾	山本 いま子	31名	14名	17名
都夢創野塾	藍葉 忠之	15名	9名	6名
文化ニューウェイブ塾	猪山 勝利	23名	10名	13名
エコ・デザイン塾	渡部 雅弘	27名	20名	7名
リサイクル文化研究塾	糸山 景大	33名	21名	12名
居留地未来塾	宮本 博文	41名	35名	6名
都市夢塾	野田 茂	32名	20名	12名
総 数	12塾	411名	219名	192名

平成7年度	塾長	卒業生数	男性	女性
都市夢塾	阿野 史子	40名	21名	19名
エコ・デザイン研究塾	渡部 雅弘	22名	17名	5名
国際交流塾	牛嶋 洋一郎	166名	59名	107名
出島ルネッサンス塾	松原 一成	17名	12名	5名
ソフトエネルギー研究塾	平井 隆市	27名	21名	6名
フィールド自遊塾	前田 卓郎	28名	16名	12名
NG発見塾	有馬 一郎	25名	20名	5名
上海塾	藍葉 忠之	28名	19名	9名
おんな達の素朴な？塾	二宮 節子	32名	一名	32名
平成の海援隊塾	柴田 恵司	30名	21名	9名
都夢創野塾	浜田 勇	34名	19名	15名
いのち・くらし・共育塾	山本 いま子	22名	10名	12名
リサイクル文化研究塾	糸山 景大	21名	14名	7名
総 数	13塾	492名	249名	243名

平成8年度	塾長	卒業生数	男性	女性
都市夢塾	山口 美智子	39名	25名	14名
リサイクル文化研究塾	糸山 景大	23名	14名	9名
国際交流塾	牛嶋 洋一郎	263名	98名	165名
エコ・デザイン研究塾	杉山 和一	22名	17名	5名
いのち・くらし・共育塾	山本 いま子	41名	17名	24名
フィールド自遊塾	前田 卓郎	25名	13名	12名
おんな達の素朴な？塾	森 郁子	40名	一名	40名
都夢創野塾	柴田 貞志	15名	7名	8名
出島ルネッサンス塾	松原 一成	24名	17名	7名
平成の海援隊塾	早田 猛	29名	17名	12名
21世紀長崎産品塾	徳勝 盛敏	19名	14名	5名
ドリーム&エンジョイライブラリー塾	川口 綾子	58名	13名	45名
総 数	12塾	598名	252名	346名

平成9年度	塾長	卒業生数	男性	女性
都市夢塾	中山 千賀子	35名	25名	10名
リサイクル文化研究塾	糸山 景大	32名	12名	20名
エコ・デザイン研究塾	杉山 和一	22名	15名	7名
国際交流塾	牛嶋 洋一郎	290名	112名	178名
出島ルネッサンス塾	松原 一成	22名	17名	5名
ドリーム&エンジョイライブラリー塾	川口 綾子	64名	44名	20名
NAGASAKIキラメキ☆シネマ塾	溝口 昌喜	18名	6名	12名
なんでんかんでん都市(まち)のデジタル探検隊塾	小久保 徳子	55名	36名	19名
総 数	8塾	538名	267名	271名

平成10年度	塾長	卒業生数	男性	女性
坂のまちなんでんかんでん研究塾	栗原 正紀	60名	41名	19名
平成の紅塾	竹中 晴美	16名	一名	16名
コーポラティブ住まい塾	塩田 真由美	21名	13名	8名
NAGASAKIキラメキ☆シネマ塾	溝口 昌喜	18名	12名	6名
ネットワークコミュニティ「都市のデジタル探検隊塾」	小久保 徳子	38名	24名	14名
夢いっぱい!としょかん塾	尾崎 寿美	34名	8名	26名
出島ルネッサンス塾	松原 一成	19名	13名	6名
国際交流塾	牛嶋 洋一郎	295名	127名	168名
総 数	8塾	501名	238名	263名

平成11年度	塾長	卒業生数	男性	女性
ごみとくらし研究塾	山本 幸代	46名	19名	27名
長崎くんち塾	安達 征治	87名	80名	7名
記憶の中の長崎案内塾	太田 恭子	29名	18名	11名
坂のまちなんでんかんでん研究塾	栗原 正紀	56名	37名	19名
NAGASAKIキラメキ☆シネマ塾	溝口 昌喜	17名	10名	7名
ネットワークコミュニティ「インターネット探検塾」	小久保 徳子	52名	30名	22名
夢いっぱい!としょかん塾	尾崎 寿美	48名	12名	36名
出島ルネッサンス塾	松原 一成	18名	11名	7名
総 数	8塾	353名	217名	136名

平成12年度		塾長	卒業生数	男性	女性
長崎ぶらぶら踊り塾	「行」	宗 保孝	78名	24名	54名
バグパイプ塾	「行」	廣高 信彦	26名	10名	16名
ヤンコ踊り塾	「行」	陳 東華	53名	7名	46名
歩いて楽しむ長崎まちづくり塾	「市」	矢川 正男	29名	20名	9名
エコシティ研究塾	「市」	宮原 和明	33名	24名	9名
ごみとくらし研究塾	「市」	山本 幸代	41名	12名	29名
記憶の中の長崎案内塾	「市」	藤城 薫	22名	14名	8名
総 数		7塾	282名	111名	171名

※平成12年度から従来の「市民提案型」の塾に、「行政提案型」の塾を加え、市民と行政が協働による、

魅力あるまちづくり事業を展開している。

「市民提案型」を「市」、「行政提案型」を「行」と表記している。

平成13年度		塾長	卒業生数	男性	女性
観光長崎バリアフリー創造塾	「市」	後藤 恵之輔	26名	23名	3名
わが町の達人・名人さがし塾	「市」	入枝 一男	21名	14名	7名
エコシティ研究塾	「市」	宮原 和明	33名	26名	7名
歩いて楽しむ長崎まちづくり塾	「市」	矢川 正男	32名	23名	9名
出島事始め塾	「行」	宮川 雅一	19名	11名	8名
<small>にいまるまるいち</small> 2001女性塾	「行」	脇山 順子	18名	一名	18名
<small>げんき</small> 長崎源木発見塾	「行」	赤瀬 憲市	32名	25名	7名
くらしと環境研究塾	「行」	木村 一生	53名	22名	31名
長崎ぶらぶら踊り塾	「行」	宗 保孝	116名	13名	103名
ヤンコ踊り塾	「行」	陳 東華	80名	7名	73名
バグパイプ塾	「行」	廣高 信彦	20名	8名	12名
総 数		11塾	450名	172名	278名

平成14年度		塾長	卒業生数	男性	女性
2002長崎サウンドデザイン塾	「市」	吉岡 宣孝	14名	5名	9名
命とからだ探検隊塾	「市」	安日 泰子	61名	4名	57名
エコな街づくり研究塾	「市」	李 桓	35名	27名	8名
観光長崎バリアフリー創造塾	「市」	後藤 恵之輔	28名	25名	3名
わが町の達人・名人さがし塾	「市」	入枝 一男	25名	12名	13名
「長崎刺繍」再発見塾	「行」	嘉勢 路子	19名	一名	19名
長崎の染塾	「行」	砂崎 素子	28名	1名	27名
長崎やけんステンドグラス塾	「行」	橋口 都	17名	3名	14名
河川環境研究塾	「行」	富工 妙子	45名	27名	18名
ごみ夢中塾	「行」	矢野 博巳	32名	10名	22名
出島事始め塾	「行」	宮川 雅一	33名	17名	16名
<small>にいまるまるいち</small> 2001女性塾	「行」	脇山 順子	15名	一名	15名
<small>げんき</small> 長崎源木発見塾	「行」	赤瀬 憲市	45名	25名	20名
長崎ぶらぶら踊り塾	「行」	宗 保孝	77名	8名	69名
ヤンコ踊り塾	「行」	陳 東華	84名	9名	75名
バグパイプ塾	「行」	廣高 信彦	28名	12名	16名
総 数		16塾	586名	185名	401名

平成15年度		塾長	卒業生数	男性	女性
生き生き園芸長崎塾	「市」	井石 八千代	44名	11名	33名
No!ドメスティック・バイオレンス塾	「市」	悦 晴美	32名	4名	28名
長崎まちづくり事業化研究塾	「市」	増倉 康久	25名	7名	18名
長崎ビジネス活性化塾	「市」	大崎 孝徳	34名	8名	26名
環境ネットワークながさき塾	「市」	宮原 和明	41名	24名	17名
長崎銀細工研究塾	「行」	酒井 美枝	20名	3名	17名
長崎陶芸復興塾	「行」	藤原 清一	33名	7名	26名
「長崎刺繍」再発見塾	「行」	嘉勢 路子	27名	一名	27名
長崎の染塾	「行」	平田 素子	33名	一名	33名
長崎やけんステンドグラス塾	「行」	小笹 悦二	16名	3名	13名
新・竹取物語塾	「行」	森 昇	26名	16名	10名
生ごみシェイパーズ塾(生ごみ減らし隊)	「行」	山口 八重子	22名	6名	16名
河川環境研究塾	「行」	富工 妙子	45名	28名	17名
出島事始め塾	「行」	宮川 雅一	31名	17名	14名
総 数		14塾	429名	134名	295名



平成16年度		塾長	卒業生数	男性	女性
長崎チェス塾	「市」	牛嶋 洋一郎	31名	24名	7名
「いつも青春」塾	「市」	田口 育子	14名	4名	10名
長崎の歴史再発見塾	「市」	小嶺 昭典	38名	23名	15名
No!ドメスティック・バイオレンス塾	「市」	悦 晴美	28名	5名	23名
長崎まちづくり事業化研究塾	「市」	矢川 正男	30名	24名	6名
環境ネットワークながさき塾	「市」	宮原 和明	45名	25名	20名
長崎の食 探検塾	「行」	宍戸 直嗣	19名	3名	16名
生きもの再生塾	「行」	引地 秀司	44名	26名	18名
新・竹取物語塾	「行」	森 昇	28名	20名	8名
生ごみシェイパーズ塾(生ごみ減らし隊)	「行」	山口 八重子	63名	19名	44名
総 数		10塾	340名	173名	167名

平成17年度		塾長	卒業生数	男性	女性
長崎の産業文化今昔物語塾	「市」	余語 保博	25名	23名	2名
長崎弁研究塾	「市」	田川 文夫	41名	19名	22名
メディエーション(対話術)研究塾	「市」	梅枝 眞一郎	22名	16名	6名
長崎チェス塾	「市」	牛嶋 洋一郎	25名	16名	9名
長崎の歴史再発見塾	「市」	小嶺 昭典	37名	24名	13名
オブジェ塾	「行」	川西 庄次	17名	16名	1名
長崎の食 探検塾	「行」	宍戸 直嗣	31名	3名	28名
生きもの再生塾	「行」	引地 秀司	36名	21名	15名
生ごみシェイパーズ塾(生ごみ減らし隊)	「行」	山口 八重子	73名	20名	53名
総 数		9塾	307名	158名	149名

平成18年度		塾長	卒業生数	男性	女性
ちよいわる団塊世代の面白発見塾	「市」	新田 照夫	17名	10名	7名
長崎)月の文化研究塾	「市」	山崎 譲	16名	4名	12名
舞台裏おじゃま塾	「市」	柘田 尚子	13名	4名	9名
長崎の産業文化今昔物語塾	「市」	余語 保博	23名	16名	7名
長崎弁研究塾	「市」	田川 文夫	42名	18名	24名
メディエーション研究塾(対話による問題解決術)	「市」	梅枝 眞一郎	33名	19名	14名
市民オブジェ塾	「行」	川西 庄次	17名	17名	一名
パートナーシップ塾	「行」	西岡 由香	13名	2名	11名
長崎出島楽坊塾	「行」	林 弘美	43名	6名	37名
総 数		9塾	217名	96名	121名

平成19年度		塾長	卒業生数	男性	女性
長崎うんすんかるた塾	「市」	大場 勝彦	31名	16名	15名
新長崎市の史跡探訪塾	「市」	田端 光男	54名	37名	17名
長崎ステーキホルダー会議塾	「市」	杉山 和一	41名	23名	18名
CM伝塾	「市」	吉光 正絵	25名	5名	20名
ながさき・ぶらんど創新(イノベーション)塾	「市」	谷口 竜一	42名	30名	12名
残しておきたい長崎ポートレート塾	「市」	矢川 正男	26名	23名	3名
長崎11月の文化研究塾	「市」	山崎 譲	12名	2名	10名
舞台裏おじゃま塾	「市」	柘田 尚子	12名	5名	7名
メディエーション研究塾～紛争解決から学ぶ快適コミュニケーション術～	「市」	梅枝 眞一郎	25名	12名	13名
市民オブジェ塾	「行」	川西 庄次	16名	10名	6名
パートナーシップ塾	「行」	西岡 由香	17名	3名	14名
長崎出島楽坊塾	「行」	西崎 寛弘	46名	7名	39名
総 数		12塾	347名	173名	174名

平成20年度		塾長	卒業生数	男性	女性
発見！実現！体験楽習塾	「市」	吉田 伸吾	46名	27名	19名
おはなし音楽塾～親子で楽しむ音楽ものがたり～	「市」	池田 祐希	18名	2名	16名
「エコ名人を探せ！」塾	「市」	佐藤 恵	23名	6名	17名
長崎うんすんかるた塾	「市」	大場 勝彦	38名	17名	21名
新長崎市の史跡探訪塾	「市」	田端 光男	56名	37名	19名
長崎ESTステーキホルダー会議塾	「市」	杉山 和一	33名	23名	10名
ながさき・ぶらんど物語(イノベーション)塾	「市」	谷口 竜一	24名	16名	8名
CM伝塾	「市」	吉光 正絵	32名	4名	28名
総 数		8塾	270名	132名	138名

平成21年度		塾長	卒業生数	男性	女性
川さるく森・川・里・海 塾	「市」	兵働 馨	36名	18名	18名
長崎洋館音楽舞踏塾	「市」	槇山 智子	24名	11名	13名
発見！ながさき遺産塾	「市」	川瀬 智子	18名	10名	8名
発見！実現！体験楽習塾	「市」	吉田 伸吾	53名	32名	21名
「エコ名人を探せ！」塾	「市」	佐藤 恵	26名	11名	15名
「龍馬伝と幕末人物」塾	「行」	三丸 正紀	59名	41名	18名
在京長崎応援団塾～長崎を外から見る～	「行」	深野 浩平	30名	24名	6名
総 数		7塾	246名	147名	99名

平成22年度		塾長	卒業生数	男性	女性
「ながさきポルトガル」知る知る塾	「市」	山口 克己	0名		
長崎ビューポイント探訪塾	「市」	村田 明久	0名		
川さるく 森川里海塾	「市」	兵働 馨	0名		
長崎洋館音楽舞踏塾	「市」	槇山 智子	0名		
発見！ながさき遺産塾	「市」	川瀬 智子	0名		
「龍馬伝と幕末人物」塾	「行」	三丸 正紀	0名		
在京長崎うまかもん塾	「行」	片山 六郎	0名		
総 数		7塾	0名	0名	0名
卒業塾・卒業生数総計		237塾	8,223名	4,253名	3,970名

## フォローアップ塾の概要

目的：市民のまちづくりに関する研究、実践活動の振興を図り、もって長崎伝習所事業の目的である市民と行政のネットワークの形成に寄与するため、まちづくり市民団体に対し、長崎伝習所フォローアップ補助金(以下「補助金」という。)を交付する。

概要：長崎伝習所「塾」事業において過去に採択されたテーマについて研究、実践活動を行うことを規約等に定めた団体で、かつ次の各号の全部に該当する団体をいう。

- (1)その構成員が 10 名以上であるもの
- (2)年間を通して定期的な活動をする見込みのあるもの
- (3)その活動が公益的かつ人材育成に寄与するもの

沿革：平成 6 年度に制度を創設「長崎伝習所まちづくり市民団体活動費補助金」、平成 20 年度に補助率などを改定し、名称も「長崎伝習所フォローアップ補助金」とした。

審査：運営委員会において、審査を行い、適切と認められたものに対して補助金を交付している。

名称	長崎伝習所フォローアップ補助金
補助金額	1 団体 1 回目 20 万円を限度
	1 団体 2 回目 10 万円を限度
	補助対象経費から当該事業に係る収入を差し引いたものの 4/5 以内
補助制限	1 団体 2 回限り

## 【交付実績】

年 度	塾 名
H8	居留地未来塾
H8	上海塾
H8	N G 倶楽部
H8	ソフトエネルギー研究センター
H9	N G 倶楽部
H9	ソフトエネルギー研究センター
H9	平成の海援隊塾
H9	都夢創野塾
H10	平成の海援隊塾
H10	リサイクル文化研究塾
H11	国際交流塾
H12	国際交流塾
H12	長崎くんち塾
H12	NAGASAKI キラメキ☆シネマ塾
H12	夢いっぱい！図書館塾
H12	出島ルネッサンス塾
H13	長崎くんち塾
H13	夢いっぱい！図書館塾
H13	出島ルネッサンス塾
H14	ごみとくらし研究塾
H14	くらしと環境研究塾
H14	歩いて楽しむまちづくり塾
H15	ごみとくらし研究塾
H15	くらしと環境研究塾
H15	観光長崎バリアフリー創造塾
H15	わが町の達人・名人探し塾
H15	長崎ぶらぶら踊り塾
H15	ヤンコ踊り塾
H15	バグパイプ塾
H16	観光長崎バリアフリー創造塾
H16	わが町の達人・名人探し塾
H16	ヤンコ踊り塾

H16	河川環境研究塾
H16	出島事始め塾
H17	河川環境研究塾
H17	出島事始め塾
H17	No!ドメスティク・バイオレンス塾
H17	長崎まちづくり事業家研究塾
H17	環境ながさきネットワーク塾
H17	長崎節木塾
H18	No!ドメスティク・バイオレンス塾
H18	長崎まちづくり事業家研究塾
H18	環境ながさきネットワーク塾
H18	長崎節木塾
H18	長崎チェス塾
H18	長崎の歴史再発見塾
H18	長崎の食 探検塾
H18	生きもの再生塾
H18	生ごみシェイパーズ塾
H19	長崎チェス塾
H19	長崎の食 探検塾
H19	生ごみシェイパーズ塾
H19	ちょいわる団塊世代の面白 発見塾
H19	長崎弁研究塾
H20	残しておきたい長崎ポ ートレート塾
H20	舞台裏おじゃま塾
H20	メディエーション研究塾
H21	残しておきたい長崎ポ ートレート塾
H21	長崎うんすんかるた塾
H21	長崎 EST ステークホルダ ー会議塾
H21	長崎イノベーション塾
H21	CM伝塾
H21	おはなし音楽塾

H22	長崎 EST ステークホルダ ー会議塾
H22	長崎イノベーション塾
H22	おはなし音楽塾
H22	「エコ名人を探せ！」塾



フォローアップ補助金審査会(4/27)

## まちコツアカデミーの概要

長崎伝習所も新たな時代の中で、大きく変わるときを迎えようとしています。

「まちコツアカデミー」は、その新しい実験事業として実施するもので、さまざまな分野で活躍する達人や、まちづくり先進地のリーダーを招いて、お話を聞き、情報交換を行うことによって、「まちづくりのコツ」をみんなまで学ぼうというものです。

また、講演だけではなく、実際に講師の方が活躍する場所を訪ね、更なる理解を図ることや、地元の人々とのふれあいやネットワークを作っていくことを目的としています。

今年度、第1回として鹿屋市柳谷公民館長の豊重哲郎氏を招き、「やる気を起こせば必ず奇跡がおこる」と題して、人口300人の柳谷地区の再生にかけた情熱を学ぼうとするものです。

第2回として別府市のNPO法人別府ハットウ・オンパクの代表理事である鶴田浩一郎氏を招き、「別府ハットウ・オンパクに学ぼう！」と題して、「長崎さるく」の手本となった「温泉博覧会」の町歩きを通しての持続可能なまちづくりを学ぼうとするものです。

### 第1回まちコツアカデミー概要

#### 講演会

日時：平成22年8月23日(月)

14:00～16:30 18:30～21:00

講師：豊重哲郎氏(鹿屋市柳谷公民館長)

テーマ：「やる気を起こせば必ず奇跡がおこる」～やねだんのまちおこし奮戦記～

会場：長崎歴史文化博物館ホール

参加者：昼75人、夜87人

## 現地視察研修

日時：平成22年11月13日(土)～  
14日(日)

参加者：23人

11月13日(土)

8:30	長崎出発
16:00	やねだん(鹿屋市)到着、豊重氏講話
19:00	懇談会(やねだんのアーティスト、若手活動者)

11月14日(日)

8:30	迎賓館、土着菌センター見学
10:30	やねだん出発
19:00	長崎着

## 参加者報告

### やねだん見学研修

梶 聖悟

やねだんに行って、「まちづくり」・「地域おこし」言うものは、その地域(市や町)にあった手法でやらないといけない事を再認識しました。

8月に長崎での豊重さんのお話を聞いて、今回、直接現地を見て、やねだんの人とも話をして、やねだんのが、なぜ、成功したのか、そして、今も元気に継続しているのか、解りました。

まずは、「人」、中心になる人がいて、その人ときちんと意識の共有が出来ている仲間がいて、そこに住んでいる人たちがに理解してもらい仲間になってもらう。自分のまちであると言う

ふるさと意識を呼び起こす事だと思います。

次に「お金」、最初は、補助金で始めてもいいが、必要最低限の活動資金を如何に無理なく継続的に得るかが、大切である。打ち上げ花火にならないようにしないとけないと思います。

参加者の皆さんと知り合いに成れ、いろんな話をして頂いた事も大変有意義でした。

### やねだん視察研修

三好 定和

一泊二日の「やねだん研修」は、想像したとおりの強行軍だった。往復16時間のほとんどを、バス運行に費やす体力があるか心配でもあったが、何とか乗り切れた。

行政に頼らないまちづくりということで、柳谷地区での主導的立場で活動されている豊重哲郎さんの話の中で、アーティストを迎える1ターン事業の中で、3つの受入条件のことをお話しされていたことを思い出した。

1つ目は、住民票がきちんとある人。2つ目は、地区の集会や共同作業に参加する人。3つ目が、お墓の世話がちゃんとできる人。以上3点の中で注目したいのは、3番目のお墓の世話についてである。

以前から鹿児島を訪ねるたびに気をとめてもいたことであるが、関心にもお墓がいつも花いっぱい、きれいに掃除もされて片付いていることだ。この柳谷では、桜島の火山灰が降ることから墓が屋根付であることも特色だが、やはり同様に、生花が供えられたきれいな墓が目につく。

聞くところでは、最近こそ造花も見うけられるが昔から墓の生花を絶やすことはないそうである。一週間に最低一度でも世話をしないと、こういう状態は保てないと思って聞くのだが、「むしろ他県では、花は盆や正月の墓参りの時ぐらいだけですが・・・」と言うと、「いつもは供えないんですか?」と、反対に驚かれる始末だ。

入居されているアーティストは、その点を良く理解されてもおられると思うが、条件の1つとして心良く受入れておられる様子に感

心した。薩摩人の大切に先祖を敬う気質にも触れることもできた点と同時に、安心して空家を提供できる仕組みづくりを、再確認できたことは大きな成果であった。



講演中の豊重氏



やねだんで豊重氏の説明を聞く



豊重氏講話



参加者の記念撮影

## 第2回まちコツアカデミー概要

### 講演会

日時：平成22年11月20日(月)

18:30~21:00

講師：鶴田浩一郎氏(NPO 法人別府ハットウ・オンパク代表理事)

テーマ：『別府ハットウ・オンパクに学ぼう!』

会場：長崎歴史文化博物館ホール

参加者：50人

### 現地視察研修

日時：平成23年1月22日(土)~

23日(日)

参加者：20人

1月22日(土)

8:30	長崎出発
13:30	別府到着、地獄蒸し料理(昼食) 鉄輪散策・体験
17:00	意見交換会(ハットウ・オンパク関係者 と参加者)
18:30	交流会(ハットウ・オンパク関係者と 参加者)
21:00	夜の竹瓦散策

1月23日(日)

9:00	竹瓦路地裏散策又は浜脇散策
11:30	とり天(昼食)
13:00	明礬温泉見学、別府出発
18:00	長崎着



会場との意見交換

## 参加者報告

### 別府ハットウ・オンパク視察研修

佐藤 恵

今回初めてまちコツアカデミーの研修旅行に参加させていただき、やはり、講師の方のお話だけでなく、実際に足を運んで、体験し、町の方々と触れ合っ、実感することの大切さを感じました。

街歩きも大変興味深かったのですが、何より、街づくりのグループの方を招いての交流会が私にとっては一番の収穫でした。たくましく資金を稼ぎ活動を継続させる姿勢や、ネットワークを作り協力しあうしくみなど大変参考になりました。ありがとうございました。

### 別府ハットウ・オンパク現地研修

綾部 哲也

活発に活動をされている。市役所職員も繋がりを持って進めている。

しかし、市からの予算は殆どない、そのために、NPO が自ら稼いで活動を継続している。このためには、鶴田氏「マネジメントと覚悟がないとやれない」との言葉通り自立している。

反面、市全体を巻き込んでいる活動には、まだ至っていない。まちづくりとは関係なく、従来の行政が打ち上げ花火的な催し物で集客に依存する観光業界の体質が根強く残っていると聞いた。それを打開するためには、鶴田氏らは、「継続は力、早急な変化に傾注するより自分達が続けて行くことが、まちづくりが広がっていく」と考えて活動されている。

大学生についても、意識の高い人もそうでない人もいる。意識の高いリーダー的學生をいかに見つけて、育てていくかにかかってい



る。APU の教授は言われて、実践を続けておられた。しかし、大人がやっている活動に学生を巻き込もうとしても今まで一度もうまくいかない、それより自分達で企画立ち上げをする方が、学生のモチベーションも高く活動出来ているとのこと。

一方、本県は、行政の予算、施策だのみのNPO という形が多いような気がする。鶴田氏が言われた「マネジメントと覚悟」の部分が、これからの課題のように感じた。

### 別府ハットウ・オンパク現地研修報告

権藤 憲治郎

今回の研修での感想を一言で言うと、「皆さん頑張っている」これは私の想像を超えるものでした。皆さんボランティアにもかかわらず、あつい思いと行動力がヒシヒシと伝わってきました。しかも長年続いている。

私がやろうとしている「私の住むまちを元気に」に少なからずインパクトのあるものだったと思います。具体的なことは若干分野の違いから、即使えるというものではありませんが勇気を頂いたように思います。

鶴田さんの「覚悟」という言葉と「事業」という言葉が印象に残っています。何をするにも「覚悟」が必要、そしてみんなの気持ちを結集して具体的な行動を継続するために「事業」が必要。ここ平山台でどのような「事業」が出来るか、合っているか、まだ掴めていませんが、賛同してくれる皆さんと話し合いながら見つけて行きたいと思っています。

やねだんやオンパクで学んだことを大切に・・・

鶴田さんにお礼のメールをうちましたところ、出張先にもかかわらず雪の中からご返事を頂きました。成功するために必要な大事な

一面を見せて頂いたように思います。

これからも機会あるごとに様々な集いに参加し、少しでも参考になることに貪欲に、またあつい人達にかかわっていきたいと思います。5年先を楽しみに。



ガイドと鉄輪散策



オンパク関係者との意見交換会



夜の竹瓦散策



竹瓦路地裏散策

## 九州創発塾の概要

九州創発塾とは、九州に根ざす7新聞社において、自立した地域づくり推進のため、平成5年に「九州平成義塾」、平成12年から「九州発見塾」、平成19年から「九州創発塾～7つのシナジーが切り拓く未来へ」を開催しています。

県境を越えた地域連携・人材交流をとおり、地域が抱える課題を共有し、ともに行動する機会を提供。塾生間の自主的ネットワーク構築など、その意義を内外に広く顕示しています。

「創発」とは、「複数の部分が融合することで、単純な総和にとどまらない新しい高度な秩序やシステムが生まれること」を意味し、個性豊かな九州の7県が連携することで、及びもつかなかったシナジーが生み出され、豊かで活力に溢れた未来が切り開かれるような願いが込められています。

第4回・長崎大会は、「九州が生み出す維新～イノベーションで明日を照らす～」をテーマに、九州各地から約400名が塾生として集い、九州の圏域力向上や将来ビジョンなどを模索しました。

長崎伝習所は、長崎新聞社からの要請により、長崎イノベーション事例体験Eとして、「人材育成～長崎伝習所の挑戦～」を担当し、長崎伝習所の取り組みを広く参加塾生に報告しました。

この中で、田上総長から「長崎伝習所の取り組みについて」の講演、「川さるく 森川里海塾」「長崎イノベーション塾」の活動報告や会場との意見交換等を行った。

長崎伝習所からも34名が全体会及び各事例体験に参加しました。

## 長崎大会概要

テーマ：九州が生み出す維新

～イノベーションで明日を照らす～

会期：平成22年9月10日(金)～11日(土)

会場：長崎ブリックホール国際会議場  
長崎新聞文化ホールほか

主催：九州新聞社7社

共催：九州経済連合会、  
中小企業基盤整備機構九州支部

協力：長崎市

### 【日程】

9月10日(金)

10:00	開会式(20分)
10:20	大会要旨宣言(20分) 総合コーディネーター 茂木健一郎氏(脳科学者)
10:40	基調講演(75分) 「イノベーションだけが世界を変える」 米倉誠一郎氏(一橋大学イノベーション研究センター長、教授)
13:05	クロストーク(70分) 「長崎の事例からみるイノベーションとは」 米倉誠一郎氏 茂木健一郎氏 梅元建治氏(長崎居留地まつり実行委員会事務局長)
14:35	中小企業基盤整備機構(60分)
15:45	旭化成提供講座(45分)
16:40	特別講演(60分) 「脳とイノベーション」 茂木健一郎氏
18:20	塾生交流会(90分～120分) *いちむじん ライブ

9月11日(土)

8:40	<p>長崎イノベーション事例体験</p> <p>A: 実地見学[シュガーロードが結ぶ新たな連携]</p> <p>講師: 池田尚己氏(長崎市ながさきの食推進室長)</p> <p>B: 実地見学["さるく"が変えた観光]</p> <p>講師: 股張一男氏(長崎市さるく観光課長)</p> <p>C: 実地見学[長崎の教会群とキリスト教関連遺産]</p> <p>講師: 川田正勝氏(外海地区まちづくり協議会理事)</p> <p>D: 実地見学[九州・山口の近代化産業遺産群]</p> <p>講師: ブライアン・バークガフニ氏(長崎総合科学大学教授)</p> <p>講師: 横川 清氏(三菱重工長崎造船所史料館長)</p> <p>E: レクチャー[人材育成～長崎伝習所の挑戦～]</p> <p>講師: 松本憲明氏(長崎伝習所事務局長)</p>
13:10	ディスカッション(30分)
13:40	成果報告会(30分)
14:20	大会総括(40分) 茂木健一郎氏
14:50	閉会式(10分)、解散

## 長崎イノベーション事例体験E報告

「人材育成～長崎伝習所の挑戦～」

プログラム 9:30～12:30

1 長崎伝習所の概要  
長崎伝習所事務局長 松本憲明

2 長崎伝習所の取り組みについて  
長崎伝習所総長(長崎市長)田上富久

3 川さるく 森川里海塾による活動報告  
塾長 兵働 馨氏

4 長崎イノベーション塾による活動報告  
塾生 寺原雅子氏

5 会場との意見交換

登壇者

長崎伝習所運営委員会  
座長 佐藤秀人氏  
川さるく森川里海塾  
塾長 兵働 馨氏  
長崎イノベーション塾  
塾生 寺原雅子氏  
長崎伝習所事務局長 松本憲明  
コーディネーター  
長崎伝習所事務局 原田宏子



会場との意見交換



クロストーク



会場でのパネル展示

## 参加者報告

### 九州創発塾 2010 長崎大会を終えて

ながさきポルトガル知る知る塾

山口 克己

総合コーディネーターをあの「茂木健一郎」氏がつとめる九州創発塾 2010 が、それも長崎で行われるとあって、いやらしくもちょっとミーハーな気持ちを抱きつつ参加させてただく機会を得た。平日開催という事もあり、仕事を休むことには気がひけたのだが、せっかくの機会だと自分を納得させてブリックホールへと足を運んだ。「九州が生み出す維新～イノベーションで明日を照らす～」というテーマに沿って、茂木さんをはじめ、米倉誠一郎氏の話に耳を傾けた。日本の実情を語りながら、イノベーション(新しい考え方で社会を変えていく。)をいかに実行していくか?じつにさまざまな事例を聞くにつけ「なるほど。」と感心するばかり。

しかし、日頃からいろんな所で耳にしたり、目にしていることも多いとあらためて感じたのも事実。情報化社会の中で、情報を得ることは安易になっているため、なんか知ってるような気になっているんだろう。きっと、そこから、自分自身がまず行動をおこすことが意外と難しいのだと思う。そんな中、長崎ネタでシュールなコメントや、質疑でない質疑があったりと、会場は笑いも交えての思いも寄らぬ雰囲気にも包まれ、楽しい時間の中で塾は進行していった。茂木さんの話を聞いてみたくて参加した創発塾であったが、一番印象に残ったのはなんといっても「高田明」氏である。茂木さん以上にメディアで露出度が高く、地元長崎の有名人でもある高田社長のエネルギーあふれる存在感に、イノベーションの秘訣を見たような気がした。それは理屈抜

きで、前進していく意欲・意志の大切さ。自分の伝えたいことを、その思いを、伝えるには「気力」が大事だという事だ。ベタな言い方になるが、「元気」がなにより。明るく、元気に、そして自分の言葉に、行動に、懸命な思いを込めることで、イノベーションの種ができて、花を咲かせ、実をむすんでいくのかもしれない。いや、たぶんそうだと確信する。そんなことは、みんな本当は知っているはず。だって、みんな坂本龍馬を好きだと思うから・・・。

### イノベーション演げの2日間

長崎洋館音楽舞踏塾

吉村 正春

茂木健一郎氏の予測できないことがイノベーションであるとのテンポ良い講義で始まった。つかみとして引き込まれていく内容でした。

米倉氏は「イノベーションだけが世界を変える」と技術革新だけでなく、新しい組み合わせとしてのイノベーションについて分りやすく話され5つの新しい組み合わせについては、もっと知りたいと思いました。

クロストークでは梅元氏が居留地まつりについて街を知り、伝え、街を生かす、人を生かす、思いをかたちにと活動内容を報告、日頃挨拶だけですが、お話をゆっくり聞かせていただきたいです。

ジャパネットの高田社長は、写真屋時代からメッセージを届けることを行ってきたとの事、より身近に感じ、今度何か購入してみたいと思いこませる話でした。翌日は事例発表体験で海外地区に行きド・ロ神父の功績を訪ねました。現在「ウーデーラ作業部会」が神父の開墾した農地の再生を行っている。海外

地区では、この他にも神父の精神を受け継ぎ作業部会が有り地域活性化を図っている。昼食は、地域の温かいおもてなしで、おいしい郷土料理をいただきました。一つの団体だけでなく、多くの団体が海外地区の地域活性化に尽力している事を体験できました。

次回は開墾した土地のお手伝いと夕日を見に行きます。

自己研さんの場として、貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

### 九州創発塾長崎大会に参加して

龍馬伝と幕末人物塾

村崎 春樹

今回九州創発塾長崎大会に参加させてもら、大変いろいろなことを学びました。このことを糧に、今後の活動に活かして行きたいと思えます。

特に印象に残ったのは、ジャパネットタカタの高田社長の実際の活動の中から得た哲学、理念などに深い感動を覚えた。

それに比べると、今回の講師としてこられた一橋大学イノベーション研究センター長、教授である米倉誠一郎氏の話は、机上の空論としか聞こえず、地方都市を馬鹿にしているとしか聞こえないとの前提での話はまったく同感できない。

2日目の体験事例は、九州・山口近代化遺産群の見学は大変参考になりました。

私たちは、私たちの郷土である長崎を誇りとして、さらに発展させていくため、一市民として活動をしていきたい。

### 「情熱」、「精進」、「夢」の持続

龍馬伝と幕末人物塾

平山 次男

1日目の基調講演で茂木健一郎氏の九州長崎は日本維新に大きく関わってきた事実を九州全体でアジアへの発信ネットワークの発信基地とすべき提案。又、午後からの企業提供講座でのジャパネットたかた社長による講話での「企業は人なり」、「人は企業になる」、「一日だけで企業にはならない」小さな夢も確実に足元の一歩からの講話に私自身共鳴する。

「情熱」、「精進」、「夢」の持続、私自身の個々の目標として忘れない様にしたい。

### 「イノベーション」と「革新」

龍馬伝と幕末人物塾

松尾 千恵

初めて九州創発塾に参加しました。「イノベーション」というまさに「革新」というテーマで今の時代にぴったりと思えました。

長崎の方が発表されて、その後、講師の方々のお話を聞かせて頂きました。私たちよりも世界の状況をお話され考えの狭さを知りましたが、地域の足元からの小さい事からコツコツと行動していく事も大事だと思えました。継続する事、長崎をよくしていこうという人が多いほど、もっと力が出てくるのではと思います。

来年も創発塾に参加したいと思えました。ありがとうございました。

## 参加者名簿

所 属	氏 名	事 例 体 験	所 属	氏 名	事 例 体 験
長崎ポルトガル知る知る塾	山口 克己	C	発見！ながさき遺産塾	川瀬 智子	C
	富永 緑	C		小林 英則	D
	若杉 昭子	C		小武家 雄康	D
	山下 富久美	C	川さるく 森川里海 塾	富工 妙子	E
	松尾 博之	C		岩崎 直哉	E
長崎洋館音楽舞踏塾	吉村 正春	C		太田 恭子	E
	倉本 桂子	C		深堀 信子	E
龍馬伝と幕末人物塾	上野 善幸	D	長崎伝習所運営委員会	山崎 加代子	E
	栗原 眞高	D	事例体験登壇者	田上 富久	E
	中島 吉盛	D		佐藤 秀人	E
	西本 浜路	D		兵働 馨	E
	福田 哲也	D		寺原 雅子	E
	藤丸 清子	D		松本 憲明	E
	平山 次男	D		原田 宏子	E
	松尾 千恵	D		長崎伝習所事務局 (運営スタッフ)	生駒 太一
	松本 奈美	D	印藤 真哉		E
	村崎 春樹	D	平井 敬晃		E



交流会で茂木さんと記念撮影



茂木さんの特別講演



## 長 崎 伝 習 所 要 綱

### (目的)

第1条 この要綱は、長崎伝習所（以下「伝習所」という。）を設け、市民と行政の有機的連携を強化することにより、人材の育成と政策を生み出す活動を行い、もって長崎の再生と創造に寄与することを目的とする。

### (事業)

第2条 伝習所の事業は、おおむね次のとおりとする。

- (1) 長崎伝習所「塾」に関すること。
- (2) その他伝習所の目的を達成するために必要と認められる事業

### (組織)

第3条 伝習所は、総長及び前条に規定する伝習所の事業を実施する者（以下「実施者」という。）で組織する。

- 2 総長は、長崎市長をもって充てる。
- 3 実施者は、総長が指名する者をもって充てる。

### (総長)

第4条 総長は、伝習所の事業を総理し、伝習所を代表する。

- 2 総長に事故があるときは、あらかじめ、その指名する実施者がその職務を代理する。

### (運営委員会)

第5条 伝習所に助言機関として運営委員会を置き、その組織、会議等については、別に定める。

- 2 運営委員は、総長が指名する者をもって充てる。
- 3 運営委員会は、伝習所の事業について助言することができる。

### (資金)

第6条 伝習所の資金は、長崎市からの補助金、寄付金及びその他のものをもって充てる。

- 2 資金は、安全かつ確実な方法により管理するとともに、適正な執行に務めなければならない。

### (事業年度)

第7条 伝習所の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。



(決算)

第8条 伝習所は、毎事業年度の決算を翌年度の5月31日までに完結しなければならない。

(事務局)

第9条 伝習所の事務局を長崎市企画財政部市民協働推進室内に置く。

(委任)

第10条 この要綱に定めるものを除くほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成3年5月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成3年8月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

## 長崎伝習所フォローアップ補助金交付要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、予算の定めるところにより、市民のまちづくりに関する研究、実践活動の振興を図り、もって長崎伝習所事業の目的である市民と行政のネットワークの形成に寄与するため、まちづくり市民団体に対し、長崎伝習所フォローアップ補助金(以下「補助金」という。)を交付することについて必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱において「まちづくり市民団体」(以下「団体」という。)とは、長崎伝習所「塾」事業において過去に採択されたテーマについて研究、実践活動を行うことを規約等に定めた団体で、かつ次の各号の全部に該当する団体をいう。

- (1) その構成員が10名以上であるもの
- (2) 年間を通して定期的な活動をする見込みのあるもの
- (3) その活動が公益的かつ人材育成に寄与するもの

(補助金の額等)

第3条 補助金の額及び補助の対象となる経費は、別表のとおりとする。

(補助金の交付申請)

第4条 団体は、補助金の交付申請を行うものとする。

2 前項の規定により補助金の交付申請を行う団体は、次に掲げる書類を添えて総長に提出しなければならない。

- (1) 補助金交付申請書(第1号様式)
- (2) 事業計画書(第2号様式)
- (3) 事業収支予算書(第3号様式)
- (4) 団体の規約
- (5) 団体の構成員名簿
- (6) その他総長が必要と認める書類

(交付の決定)

第5条 総長は、補助金の交付申請があったとき、当該申請に係る書類等の審査により、適正であると認めた時は、補助金交付決定通知書(様式第4号)を交付するものとする。

(補助金の交付)

第6条 この補助金は、概算払により交付するものとする。

(実績報告)

第7条 実績報告は、補助対象事業が完了した日から起算して1月以内又はその翌年度の4月5日までのいずれか早い日までに提出しなければならない。

2 実績報告は、次に掲げる書類を添えて総長に提出しなければならない。

- (1) 事業実績報告書(第5号様式)
- (2) 事業完了報告書(第6号様式)

- (3) 事業収支決算書（第7号様式）
- (4) その他総長が必要と認めるもの  
（長崎市補助金等交付規則の準用）

第8条 この要綱に定めるものを除くほか、補助金の交付等にかかる事項については、長崎市補助金等交付規則（昭和63年長崎市規則第21号）の規定を準用する。この場合において、同規則中「市長」とあるのは「総長」と読み替えるものとする。  
（委任）

第9条 この要綱の施行に関し必要な事項は、総長が定める。

附 則

この要綱は、平成6年5月23日から施行し、平成6年度の補助金から適用する。

附 則

この要綱は、平成20年6月10日から施行し、平成20年度の補助金から適用する。

別表（第3条関係）

種別	長崎伝習所フォローアップ補助金
補助金額	1団体1回目20万円を限度 1団体2回目10万円を限度
	補助対象経費から当該事業に係る収入を差し引いたものの4/5以内
補助制限	1団体2回限り
対象経費	報償費（外部の講師・専門家等への謝礼、調査・研究等にかかる報償費） 旅 費（外部講師の移動等にかかる運賃・宿泊費等、視察研修費） 需用費（教材費、文具等の消耗品費、パンフレット・チラシ等の印刷製本費） 役務費（通信運搬費、手数料、保険料等） 使用料・賃借料（会場使用料、車両・器具等の賃借料） その他の経費（その他総長が認めるもの）
対象外経費	団体の構成員による会合の飲食費 団体の構成員に対する人件費、謝礼等 団体の構成員に対する交通費、ガソリン代、駐車場代

備考 補助金額において、1,000円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする。

## ■ 長崎伝習所タイムズ ■

今年度の塾長が、それぞれの塾活動のPRと、お互いの塾同士の情報交換を目的に、「長崎伝習所タイムズ」を創刊しました。

企画・編集をすべて今年度の塾長が行うという新しい取り組みです。

市民活動センターランタナをはじめ、市役所本館案内所などで配布したり、ホームページに掲載したりしました。

### ● vol.1



### ● vol.2



● vol.3

Magazine spread for vol.3. The central page features the '長崎伝習所TIMES' logo with the number 3 and the 'ACTIVE NAGASAKI NETWORK' text. The left page is titled '川さるく 森川里海塾' and includes an 'EVENT' section for '第31回川さるく 森川里海塾 開塾式(2017年11月25日)'. The right page is titled '龍馬伝と幕末人物塾' and includes a section for '長崎ビューポイント探訪'.

● vol.4

Magazine spread for vol.4. The central page features the '長崎伝習所TIMES' logo with the number 4 and the 'ACTIVE NAGASAKI NETWORK' text. The left page is titled '川さるく 森川里海塾' and includes an 'EVENT' section for '第32回川さるく 森川里海塾 開塾式(2017年12月2日)'. The right page is titled '龍馬伝と幕末人物塾' and includes a section for '長崎ビューポイント探訪'.

● vol.5

Magazine spread for vol.5. The central page features the '長崎伝習所TIMES' logo with the number 5 and the 'ACTIVE NAGASAKI NETWORK' text. The left page is titled '川さるく 森川里海塾' and includes an 'EVENT' section for '第33回川さるく 森川里海塾 開塾式(2017年12月10日)'. The right page is titled '龍馬伝と幕末人物塾' and includes a section for '長崎ビューポイント探訪'.

■ 平成22年度版 ポスター・チラシ ■

● 「塾」テーマ募集

**長崎伝習所「塾」企画募集！**  
1/31

「塾」をテーマに、塾生が中心となって企画・運営する「塾」の企画を募集します。塾生が中心となって企画・運営する「塾」の企画を募集します。塾生が中心となって企画・運営する「塾」の企画を募集します。

募集期間：平成22年1月1日～1月31日

募集内容：塾生が中心となって企画・運営する「塾」の企画を募集します。塾生が中心となって企画・運営する「塾」の企画を募集します。塾生が中心となって企画・運営する「塾」の企画を募集します。

応募方法：長崎伝習所事務局へ応募してください。

お問い合わせ：095-822-1111

▲ チラシ(A3 両面)

● 塾生募集

**塾の紹介**

**塾生募集**

「塾」をテーマに、塾生が中心となって企画・運営する「塾」の企画を募集します。塾生が中心となって企画・運営する「塾」の企画を募集します。塾生が中心となって企画・運営する「塾」の企画を募集します。

募集期間：平成22年4月30日（日）まで

募集内容：塾生が中心となって企画・運営する「塾」の企画を募集します。塾生が中心となって企画・運営する「塾」の企画を募集します。塾生が中心となって企画・運営する「塾」の企画を募集します。

応募方法：長崎伝習所事務局へ応募してください。

お問い合わせ：095-822-1111

▲ チラシ(A3 両面)

● 長崎伝習所まつり

**長崎伝習所まつり**

3/21

11:00～17:00

「塾」をテーマに、塾生が中心となって企画・運営する「塾」の企画を募集します。塾生が中心となって企画・運営する「塾」の企画を募集します。塾生が中心となって企画・運営する「塾」の企画を募集します。

募集期間：平成22年3月21日

募集内容：塾生が中心となって企画・運営する「塾」の企画を募集します。塾生が中心となって企画・運営する「塾」の企画を募集します。塾生が中心となって企画・運営する「塾」の企画を募集します。

応募方法：長崎伝習所事務局へ応募してください。

お問い合わせ：095-822-1111

▲ ポスター(A1)

▲ チラシ(A4 両面)

■ PRグッズ ■

● まいちに denden シール



▲ 円形シール：直径 2.5cm(1 シート 20 枚)

● denden ストラップ

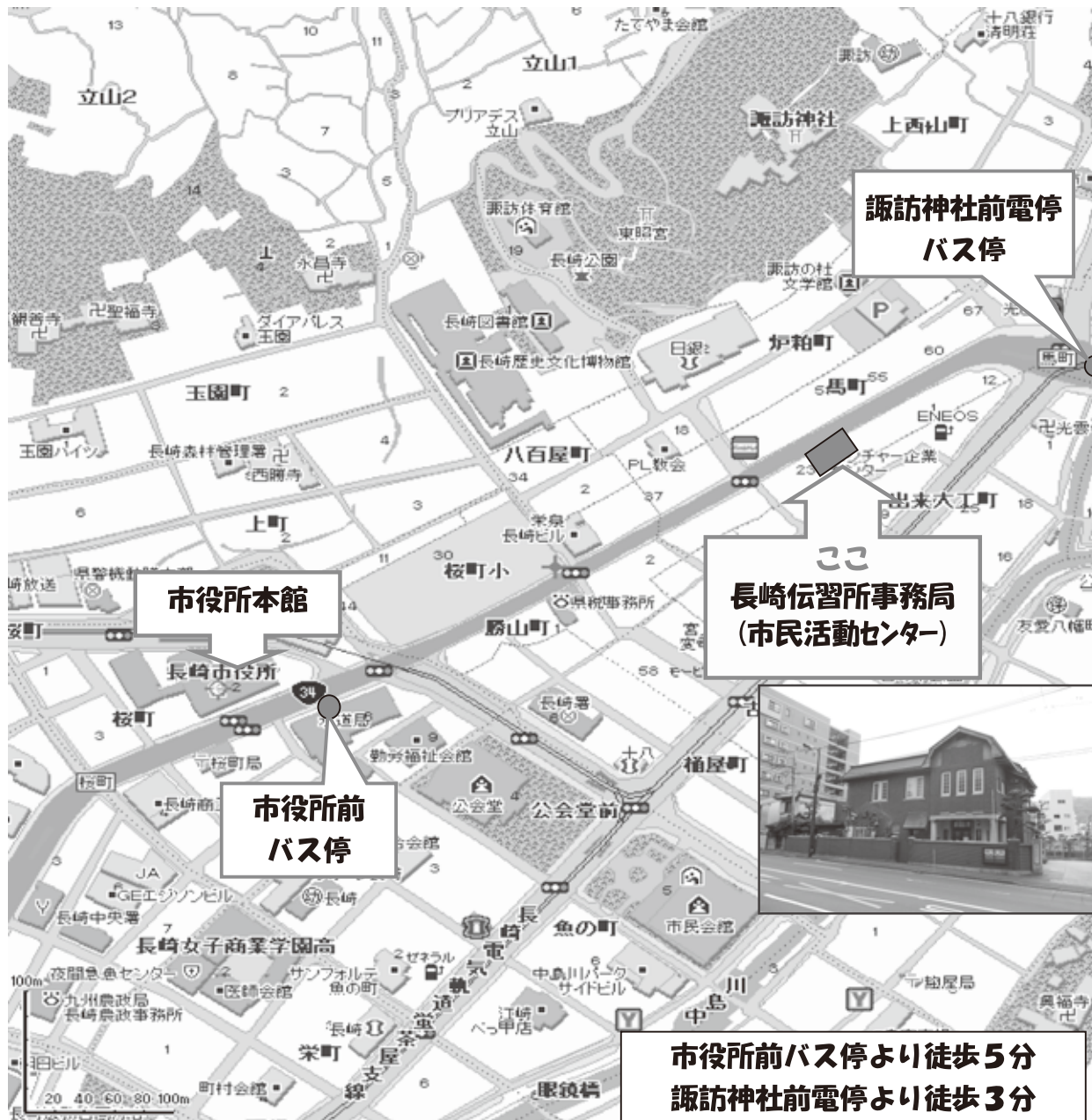


▲ 円形本体：直径 2.7cm(磁器)

● denden バックバナーパネル



▲ バナー：タテ 230×ヨコ 230 cm



## 「長崎伝習所」平成 22 年度研究成果報告書

発行：平成 23 年 3 月

編集：〒850-0022

長崎市馬町 21-1 長崎市市民活動センター内

長崎伝習所事務局（長崎市企画財政部市民協働推進室内）

TEL 095-829-1125 FAX 095-829-2925

E-mail [denshusho@city.nagasaki.nagasaki.jp](mailto:denshusho@city.nagasaki.nagasaki.jp)

ホームページ <http://www1.city.nagasaki.nagasaki.jp/denshusho/>